

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 30 日作成)

委員会名	快適性小委員会	主 査 名：野口憲一
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋委員会(海洋研究推進運営委員会)	委員長名:登坂宣好(横内憲久)
設 置 期 間	2000 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	海洋建築物の快適な居住性を確保するための調査研究を行う。 そのために、種々の先行している他分野の研究成果の取り込みながら、ある例題を対象に研究を進め、学会独自の快適環境計画・設計指針に向けての基礎資料を作成する。	
委員構成 (委員名(所属))	野口憲一(大成建設) 川上善嗣(能開総合大) 後藤剛史(法政大) 川西利昌(日本大) 加藤賢治(豊田高専) 堀田健治(日本大)	
設置 WG (WG 名:目的)		
2003 年度予算	円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年 4 月 6 日(水) 参加者 4 名 2003 年 5 月 26 日(水) 参加者 3 名 2003 年 6 月 23 日(水) 参加者 4 名 2003 年 11 月 5 日(水) 参加者 4 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 快適性に関する研究成果の収集と問題点の抽出および快適居住環境構築への具体的手法について検討した。これらの成果をもとに昨年度作成した機能-リスク-特性マトリクスの検討を行った。さらに快適性に関わる都市のリスクをとりあげ、具体的に、海域特性を用いた都市機能の補完について検討した。
目標の達成度	委員会 HP アドレス： (当初の活動計画と得られた成果との関係) 快適居住性に関わる海洋建築の問題点を抽出し、機能 - リスク - 特性マトリクスを作成した。さらに具体的な都市のリスクとして、光環境、悪臭、ヒートアイランド現象、環境騒音、環境振動等を対象として、リスク要因と海域利用による補完方法について検討した。また快適性小委員会としての都市機能補完型海洋建築のキーワードとして、「都市環境監視センター」を提案した。
その他評価すべき事項	